



平成29年度助成事業成果表




『青少年アンビシャス運動支援の会』では、青少年アンビシャス運動参加団体を取り組む“子どもがアンビシャスになるための優れた活動”や、“子どもたちの成長につながる効果的な活動”などに対し、財政的な支援を行っています。




平成29年度は、19団体（長期継続活動支援：16事業、短期活動支援：3事業）に支援を行い、未来を担う子どもたちの育成に寄与しました。

1 助成団体及び活動概要（前期）


【長期継続活動支援：8事業】

No.	団体名・所在地	活動名及び内容等
1	言葉の森後援会 (久留米市)	<p>聞こえない・聞こえにくい子どもたちの育ちを地域で支えよう ～子どもたちの幸せな自立を目指して～</p> <p>聴覚障がい児の健やかな発達や障がい認識を深め、将来への展望を与えようと企画されたもので、27年度から採択された。</p> <p>3年目となった29年度は、これまでの活動を踏まえ、組織の在り方も検討しながら、未就学の聴覚障がい児への児童発達支援、就学児の放課後等デイサービス事業所の運営を始め、成長に必要なことや保護者の関わり方をテーマとした講演会や家族手話教室などを実施した。</p> <p>これらの活動に、延3,500名余が参加し、聴覚障がい児の社会的自立へ向けた支援を行うことができた。</p>  <p style="text-align: right;">言葉の森 講演会</p>
2	福津市子ども読書 連絡協議会 (福津市)	<p>絵本や本の楽しさを子どもたちに2017</p> <p>小中学生が絵本や本の世界の楽しさを知る体験を通じて、読書の幅を広げ、豊かな人間性を育むとともに、読解力の底上げの一助とすることを旨とした活動で、29年度から採択された。</p> <p>1年目は、物語絵本作家を招いた読み聞かせや講演会を行うとともに、津屋崎中学校、福間中学校の生徒約1,000人余に、読み聞かせとブックトークを実施、多様な絵本や本と出会うことにより、読書への興味関心を深め、読書意欲を喚起した。</p> <p>市立図書館での講演会には、地域の方を含め60人が参加、大人にも子どもの読書活動の大切さを啓発することができた。</p>  <p style="text-align: center;">絵本作家を招へいた講演会</p>

No.	団体名・所在地	活動名及び内容等
3	子どもに能楽を勧める会（英扇会） （北九州市八幡西区）	<p style="text-align: center;">「子どもと留学生の能楽発表会」と 「小学校での能楽ワークショップ」</p> <p>子どもたちや留学生に能楽を学ばせることで、日本古来の伝統文化への理解や、礼儀作法、集中力、向上心を高めるなど、健全な育成に繋げようとする活動で、27年度から採択された。</p> <p>3年目となった29年度は、これまでの「北九州市芸術祭・能楽大会」、「福岡宝友会」、「子どもと留学生の能楽発表会」への出演に加え、「子ども能楽教室」や「留学生能楽教室」の内容も工夫したことにより、子どもたちの能楽への向き合い方も変化してきた。</p> <p>これらの活動には142名が参加し、能楽を通して礼儀作法を身に付けるとともに、向上心や協調性が養われた。</p> <div style="text-align: right;">  <p>子どもの仕舞</p> </div>
4	宇美町スポーツ少年団 （糟屋郡宇美町）	<p style="text-align: center;">宇美町スポーツ少年団リーダー育成事業</p> <p>地域のスポーツクラブとして少年リーダー育成に焦点を当て、小学校5年生以上の団員を対象とした「リーダー会」を発足させて3年目を迎えた。</p> <p>29年度は、偶数月に開催された「リーダー会定例会」でレクレーション技術の向上に取り組み、9月の「シップス交流会（全体交流会）」や1月の「ジュニアリーダースクール」の企画・運営にリーダー自ら携わり、積極的に取り組んだ。</p> <p>リーダー会のメンバーは、積極的にレクレーション技術を身に付け、一般団員を指揮するリーダーとして育っている。</p> <div style="text-align: left;">  <p>ジュニアリーダースクールでの野外活動</p> </div>
5	囲碁センター碁楽・碁楽子供囲碁教室 （久留米市）	<p style="text-align: center;">子供囲碁教室交流会</p> <p>子どもたちが一堂に会し、囲碁を通じた友好を深め、地域における年代を超えた交流を重ねることにより豊かな心や大いなる志を持った青少年を育成していこうとする活動で、3年目を迎えた。</p> <p>29年度は県内5か所において囲碁交流大会を開催し、290名の子どもたちが参加した。他教室の子どもはもちろん、県外からも子どもが参加し、交流を深めることができた。</p> <p>また、新たな組織として「子供囲碁教室交流実行委員会」を立ち上げ、30年度以降、全県的な子ども囲碁普及への取り組みを始めることとしている。</p> <div style="text-align: right;">  <p>福岡県子ども囲碁交流大会</p> </div>

No.	団体名・所在地	活動名及び内容等
6	福岡県和ごま競技普及協会 (太宰府市)	<p style="text-align: center;">ちびっこ指導員による和ごまの指導</p> <p>和ごまをツールとして、地域で子ども社会の再生に取り組み続けてきた活動で、16年目を迎えた。現在では「ちびっこ指導員(小学生)」制度を取り入れ、子どもが子どもに教えることで、自立心を育てている。</p> <p>29年度は3地域に出向き、延べ35名のちびっこ指導員が、75名の幼児・小学生に指導を実施し、和ごまを通した子どもたちによる子どもたちの育成を図った。</p>  <p>指導を受けた子どもたちの中にはちびっこ指導員になることを希望する子も出てきており、自立心が育まれた成果が現れている。</p> <p style="text-align: center;">「ちびっこ指導員」による指導</p>
7	にじいろ (京都郡苅田町)	<p style="text-align: center;">[ふくおか・プレ弁当の日] ～ふくおか・弁当の日を、幼児親子で実践しよう～</p> <p>小学校で実施される「ふくおか弁当の日」を見据え、幼児や小学校低学年の子とその親を対象とした農業体験、料理教室などを行い、食育を通して子どもを育成する活動として、27年度から採択された。</p> <p>これまでの酪農体験、稲作体験に続く3年目は、畑での季節野菜づくりを体験し、その食材で自分の弁当を作り、親子で食育を考えた。</p> <p>活動には幼児・小学生37名が参加し、長期間にわたる野菜づくりは、つらく大変なこともあるが、地域の人たちにも見守られ、自分で考え、行動することができた。</p>  <p style="text-align: right;">育てた野菜で調理実習</p>
8	壱鼓館 (福岡市東区)	<p style="text-align: center;">子ども和太鼓体験教室</p> <p>障がいを持つ子ども達への和太鼓を使った表現(礼節、コミュニケーション、演奏)を中心とした技術指導を通して、意欲向上と達成感から生まれる自信をつくり、ご家族と共に将来への目標や希望を叶える環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>長期継続活動の2年目となった29年度は11名が参加し、くり返し練習することで「できる」ということを実感、地域のお祭りでチーム演奏も披露した。</p>  <p style="text-align: center;">和太鼓の練習風景</p> <p>障がいを持つ子どもたちの積極性・集中力・持久力を育てるには、長い時間や回数を「繰り返し楽しむこと」が必要不可欠であり、継続した取り組みにより、その効果が現れている。</p>




【短期活動支援：1事業】



No.	団体名・所在地	活動名及び内容等
①	こども花だんプロジェクト (大牟田市)	<p style="text-align: center;">こども花だんプロジェクト</p> <p>放置状態であった大牟田市大正町4丁目交差点のロータリーを綺麗にしたいと、地域の人たちが協力して立ち上げた。</p> <p>今回の取組みでは、花だんのデザインをはじめ、花の植替えや1年を通じた花だんの世話を、幼児から高校生まで650名の子どもたちが、主体的に活動した。</p> <p>花だんづくりを通して一体感が生まれ、花の世話をすることで心の豊かさや、人とのつながりの大切さを感じることができた。</p>  <p style="text-align: center;">子どもたちによる花だんづくり</p>

2 助成団体及び活動概要（後期）



【長期継続活動支援：8事業】

No.	団体名・所在地	活動名及び内容等
1	田川de寺子屋プロジェクト (田川郡川崎町)	<p style="text-align: center;">むすんでひらいて そば打って</p> <p>子どもたちが遊休地にそばの種をまき、栽培、収穫、そば打ちまでを体験することで、生産する喜びや命の大切さに気付かせようとする食育事業で、28年度から採択された。</p> <p>29年度は田川地区3か所の保育園児が、種まき、成育観察、そば打ちを行い、そばの種が食品になるまでの過程を体験することで、食物のありがたさ、いのちの大切さを学んだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <div data-bbox="905 571 1339 665"> <p>9月には初めて3か所の保育園が一堂に会し、そばの花スケッチ大会を開催、交流を深めることもできた。</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">そばの花スケッチ大会</p>
2	NPO法人 がんサーサポート (福岡市東区)	<p style="text-align: center;">未来ある子ども達に伝えたい 「いのちのホームルーム」がん教育プロジェクト</p> <p>がん経験者や看護師を学校に派遣し、授業の形態で「がんの正しい知識」と「いのちの大切さ」を子どもたちに学ばせることにより、心身の成長を促すとともに、いじめや自殺の減少も願って活動している。</p> <p>採択されて3年目を迎えた29年度は、この授業を実施する学校が大幅に増加し、受講した児童・生徒数は25,000名を超えた。</p> <p>授業を真剣に聴いて自分なりに感じ、涙を流しながら感想を語ったり、家に帰って家族と語り合うなど、この授業は子どもたちの胸に深く響いている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: right;">「いのちのホームルーム」の授業</p>
3	NPO法人 なかがわ自然楽会 (筑紫郡那珂川町)	<p style="text-align: center;">遊休田畑を活用した青少年の農業活動並びに食育活動支援</p> <p>東北大震災時に、支援活動として素人米作りを始めた（大人）ことを契機に活動していたが、28年度から子どもたちを中心にした農業体験事業に取り組んでいる。</p> <p>米作りも野菜づくりも、植え付けから収穫までの一貫した農作業を子どもたちに体験させ、稲の時節ごとの手入れや成長を記録し、白書としてまとめた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center;">収穫祭で作り上げた「お米づくり白書」</p> <p>子どもたちは、田圃という自然の舞台で伸び伸びと活動し、生産の喜びが「収穫祭」で最高潮となった。</p>

No.	団体名・所在地	活動名及び内容等
4	羽根木東区寺子屋 (家庭塾) (行橋市)	<p>「楽しく遊んで 楽しく学ぶ」 学校嫌い解消のための寺子屋</p> <p>「楽しく遊んで楽しく遊ぶ」をモットーに、地域の小学生を対象とした寺子屋は、開所から16年目を迎えた。</p> <p>27年度から長期的視点に立った助成事業として採択され、3年目の29年度は、寺子屋憲法3ヶ条を作り、子どもが主役であることを謳い、また、16年間の活動の成果を報告書として取りまとめた。</p> <p>基礎学力をつけることを中心に、遊ぶことを大切にしている。 これまでの卒業生は113人にのぼり、市内のみならず、市外の小学生も通っている。</p>  <p>「寺子屋」での学習</p>
5	NPO法人 田主丸町緑の応援団 (久留米市)	<p>中国沙漠植林ボランティアの旅 九州田主丸隊</p> <p>沙漠化を少しでも阻止するため、平成4年から中国内モンゴル自治区での植林ボランティア活動を続けており、27年度から採択された。</p> <p>29年度はこれまで最大の9名を派遣し、現地中学生とともに、500本のポプラの苗木を植樹した。また、日中の中学生での意見交換会を行い、交流を深めることもできた。</p>  <p>植林ボランティア活動</p> <p>この活動経験は、参加した子どもたちの視野を広げ、学校や社会での活躍につながっている。</p>
6	NPO法人 川塾北九州 (北九州市小倉南区)	<p>紫川だれでもカヌー</p> <p>「川に学ぶ」という理念のもと、障がいを持つ子どもたちに、川での自然体験活動を通じて自然の素晴らしさと大切さを伝え、生きる力と感じる力を育むため、カヌーを体験する「紫川だれでもカヌー」を実施している。</p> <p>29年度は9月23日に、20名の障がいのある子どもを含め45名が参加、十分な安全管理のもと、カヌー体験や自然観察を行った。</p> <p>川での自然体験活動により、環境保護の意識が高まるとともに、障がいを持つ子どもにとって、自立する力を育てている。</p>  <p>紫川での自然体験活動</p>

No.	団体名・所在地	活動名及び内容等
7	篠栗森づくりの会 (糟屋郡篠栗町)	<p style="text-align: center;">「森で遊ぼう」教室</p> <p>篠栗町の里山を拠点に、幼児期や学童期の子どもへ自然体験をさせることにより、身体能力、五感や感性、生態系や地球環境への理解、社会性や自尊心を鍛える活動を行っている。</p> <p>29年度から助成事業として採択され、四季折々の里山で川遊びや昆虫採集、植樹活動、野外調理などの活動に、毎月一回取り組んだ。</p>  <p>子どもたちの自然理解が深まるとともに、行動に主体性・積極性が育まれ、併せて、大人が下枝刈り等の安全対策や環境整備を行うことにより、里山の環境保全が図られている。</p> <p style="text-align: center;">四季折々の体験「筍掘り」</p>
8	劇団宮若レイン ボーカンパニー (宮若市)	<p style="text-align: center;">市民ミュージカルの制作及び公演</p> <p>市町村合併記念イベントとしてミュージカル公演が開催され、これを契機に市民運営の劇団が発足、子どもたちが演じるミュージカルを通して、市の歴史や文化を伝える活動を行っている。</p> <p>29年度は「小さな神様がいた教室～玉房姫の物語～」をテーマに故郷の大切さを気づかせるミュージカル公演を行い、経験のある子どもはもちろん、初めて舞台に立つ子ども日頃の練習の成果を見事に発揮した。</p> <p>子どもたちは、練習や公演活動を通して身に付けた考える力、発言する力等を、学校や生活の場でも活かしており、その後の進路にもよい影響を与えている。</p>  <p style="text-align: right;">青少年アンビシャス運動フォーラムでの発表</p>

【短期活動支援：2事業】

No.	団体名・所在地	活動名及び内容等
①	<p>山の上のフリースクールSaita (糸島市)</p>	<p style="text-align: center;">自然の中で話そう！食べよう！感じよう！</p> <p>自然豊かな山の中腹で、課題を抱える小・中学生が自然の中で感性を伸ばし、ストレスから解放できる「居場所」としてフリースクールを開設して2年目を迎えた。</p> <p>フリースクールに通う子どもたちと学校に通える子どもたちが、月一回の野外料理、リースづくり、山菜取りなどの自然体験イベントを通して交流を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="width: 30%;"> <p>子どもたちは、活動によって達成感や責任感が育ち、また、異年齢の子どもたちや大人と触れ合うことでのコミュニケーション能力の向上が見られた。</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">立体折り紙&ちょこっと勉強会</p>
②	<p>NPO法人 福間津屋崎子ども劇場 (福津市)</p>	<p style="text-align: center;">ドラマ創作活動 ～自分たちで物語をつくって発表しよう～</p> <p>地域の子どもの豊かな感性と生きる力を育むため、子どもの表現活動（ドラマスクール、太鼓、茶道等のサークル活動）をはじめ、子どもたちが豊かに育つ地域づくりに取り組んでいる。</p> <p>これまでドラマスクールの手法を通してコミュニケーション力を育ててきたが、29年度はさらに表現力を養う場として、自分たちでドラマ（物語）を創り、芝居にして発表会を開催した。</p> <p>子どもたちが協力してドラマを創り、発表までの間、責任感を持って取り組むことで、自信や信頼関係、協調性が大きく育った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: center;">発表会本番に向けて意思統一</p>